

令和8年4月15日

一般社団法人 日本病院薬剤師会
会長 武田 泰生 先生御侍史

一般社団法人 日本薬学教育学会
理事長 乾 賢一
同薬学教育カリキュラム検討委員会
委員長 小佐野博史

日本薬学教育学会「薬学教育カリキュラム検討委員会主催ワークショップ (WS)」への参加のお願い

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本薬学教育学会薬学教育カリキュラム検討委員会では、薬学教育モデル・コア・カリキュラム(令和4年度改訂版)(改訂コアカリ)の周知徹底のため、令和7年3月、日本薬学会第146年会の翌日に第3回ワークショップ「薬学教育が変われば薬剤師が変わる」を開催しました。その際には、貴会にも参加希望者へのお声がけを頂き、誠にありがとうございました。お陰様で今回は、日本薬学教育学会機関会員大学24大学から40名、病院、薬局等から15名の計55名と共に討論し、改訂コアカリを活かした将来の薬剤師をより輝かせるためのカリキュラムの在り方を共有できました。しかし、会期が日本薬学会第146年会の翌日ということもあり、病院勤務の薬剤師には参加しにくい日程であることも事実でした。

本委員会では、薬学教育の将来は現状では決して明るいものではなく、薬学系人材養成はもちろん、国民に広くその存在意義を問う時期に来ていると考えています。特に、3回のワークショップを通して、薬学教育の肝である改訂コアカリの立て付けが十分理解されないまま教育が行われていることを強く実感いたしました。そこで教育に関心の高いより多くの薬剤師に参加いただき、更に議論を深めていただくために、継続的にワークショップを企画し情報を共有していくことが大切だと考え、日程と開催地域を考慮して別紙に示しました第4回目のワークショップを実施することにいたしました。

つきましては、本ワークショップに少しでも多くの方に参加していただきたく、本学会の機関会員である日本病院薬剤師会に再度、ご案内することになりました。貴会におかれましては事情をご理解いただき、各都道府県の病院薬剤師会に宛てて、ご案内いただけますようお願い申し上げます。なお、今回は東海地区の病院薬剤師会には日本薬学教育学会からも別途ご案内させていただきますことをご容認頂けますようお願いいたします。

大学からの参加者につきましては、今回は全薬系大学の学長、学部長に参加者募集のご協力をお願いしております。

なお、本企画はあくまで学会活動の一環ですので、組織を背負うことなく参加者個人の立場での参加していただくことを申し添えます。

本件につきまして、ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡下さい。何卒よろしくようお願い申し上げます。

謹白

■申込先

日本薬学教育学会 薬学教育カリキュラム検討委員会 h-kosano@pharm.teikyo-u.ac.jp 宛に、
①所属先、②参加者氏名と役職 (E-mail アドレスを含む)、を記入の上、メールにてお申込みください。

締切：令和8年6月6日 (土)

日本薬学教育学会 「第4回薬学教育カリキュラム検討委員会主催ワークショップ」概要

1. 日程

第4回ワークショップ

令和8年6月14日(日) 10時開始(受付9時30分から) 17時終了予定

会場：名城大学八事キャンパス(愛知県名古屋市天白区八事山150)

テーマ：薬学教育が変われば薬剤師が変わる。

セッション1：薬学教育の現状と将来 ―今の薬学教育についてどう感じていますか―

セッション2：将来の薬剤師をより輝かせるためのカリキュラムとは

詳細なプログラムは、後日、参加者に直接ご連絡いたします。

2. 参加者

薬学教育に関心のある方。

なお、日本薬学教育学会の会員でなくてもご参加いただけます。

3. 募集人数 60人

4. 参加費等諸費用

1) 参加費：無料

2) 昼食：各自でご用意ください(ペットボトルのお茶(500 mL)を1本ご用意いたします)

3) 交通費、宿泊費は各自でご負担をお願いいたします。

5. 参加申込先と締切

1) 申し込み先：

日本薬学教育学会 薬学教育カリキュラム検討委員会 h-kosano@pharm.teikyo-u.ac.jp宛に、

①大学名(所属講座)、②参加者氏名と役職(E-mailアドレスを含む)、を記入の上、メールにてお申込みください。

2) 申し込み締切：令和8年6月6日(土)

6. 内容については、第3回とほぼ同様のプログラムを考えておりますが、以前参加いただいた参加者が一定数集りの場合、今までのこのワークショップで得られたことを、どのようにご自身の所属団体の活動に生かすことができたか、という点について話し合うことも考えています。

以上